

各 位

上場会社名	株式会社 エスイー
代表者	代表取締役社長 森元峯夫
(コード番号)	3423)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 塚田正春
(TEL)	03-3340-5500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,731	△67	△47	△3	△0.39
今回修正予想(B)	6,538	△171	△160	△56	△7.40
増減額(B-A)	△192	△104	△113	△53	
増減率(%)	△2.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	6,737	2	13	△26	△3.50

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,464	△51	△26	△3.39
今回修正予想(B)	4,264	△139	△83	△10.85
増減額(B-A)	△199	△88	△57	
増減率(%)	△4.5	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	4,842	100	71	9.30

修正の理由

1. 第2四半期連結累計期間の連結業績予想

当第2四半期累計期間における連結業績予想は、親会社株式会社エスイーの下記「2. 第2四半期累計期間の個別業績予想」に記載した状況が大きく影響し、売上高・利益共に当初予想を下回る見通しであります。連結対象子会社では、エスイー朝日株式会社および株式会社キョウエイが市場環境の好転に支えられ、当初業績を大きく上回るものと予想されます。しかしながら、株式会社アンジェロセックは「コンゴ国キンシャサ市ボワ・ルー通り4車線化調査」の受注物件の売上が第3四半期以降にずれ込んだことで売上高・利益共に当初予想を下回る見通しであります。このことから、第2四半期連結累計期間の連結業績は、当初予想に比べ売上高は192百万円減少の6,538百万円、営業利益は104百万円減少の△171百万円、経常利益は113百万円減少の△160百万円、四半期純利益は53百万円減少の△56百万円となる見込みであります。

2. 第2四半期累計期間の個別業績予想

当第2四半期累計期間における当業界を取巻く環境は、東日本大震災への対応としての公共工事費執行5%保留の措置や9月に関西地区を襲った台風12号や15号の影響による工事中止などにより、大変厳しい状況で推移しております。これを受け個別業績予想は、当初予想に比べ売上高は199百万円減少の4,264百万円と見込まれます。これは、「建設用資機材の製造販売事業」のうち、「橋梁構造分野」では当初予想を上回ったものの、「環境・防災分野」および「レンタル・その他分野」では下回る見通しとなったことによります。「環境・防災分野」減少の理由は、主力製品の『法面アンカー』と『KIT受圧板』の販売が当初予想を上回る見通しであるものの、もう一つの主力製品であります『落橋防止装置』が新設橋梁物件減少の影響もあり、当初予想を下回る見通しとなったためであります。

利益面では、売上高減少に伴う利益の減少に加え、利益率の高い工場製品の伸びがなかったことで売上総利益の低下が予測されます。これらにより、経常利益は88百万円減少の△139百万円、四半期純利益は57百万円減少の△83百万円を見込んでおります。

3. 平成24年3月期通期(連結)の業績予想

平成24年3月期通期(連結)の業績予想につきましては、東日本大震災の復興需要をはじめ公共事業費5%執行保留解除に伴う災害等に対する予算執行状況や市場動向等、業績に与える影響が依然として不透明なことから、現時点では修正を行っておりません。今後精査し、見通しが明らかになった時点で速やかな開示を行ってまいります。

(注)上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上